

新たな疾患への取り組み

文 長也寸志

text by Yasushi Cho

私たち医療法人友志会では現在熊本と東京にて脂肪由来の体性幹細胞を用いた再生医療を施術しています。

その施術病名として厚生労働省より認められている疾患名は、糖尿病と慢性疼痛に対する治療です。

糖尿病の治療は、糖尿病そのものの改善はもちろんのこと、糖尿病の合併症を予防し改善することが目的です。

また慢性疼痛に対する治療というのは、何らかの疾患が原因の痛みや原因不明の痛みへの治療ということになります。

そしてそれらに加え新たな取り組みを始める疾患名が、脳血管障害による後遺症の治療です。

このきっかけは、今までたくさんのお客様が糖尿病や慢性疼痛治療のために来院され治療を行ってきたのですが、

中には糖尿病でありながらも脳血管障害が原因で身体が半身麻痺であったり、身体の大部分が耐えられない痛みに襲われていたりという患者様が多数いらっしゃいました。

そしてそのほとんどの方々が、糖尿病だけでなく、麻痺状態の身体がみるみる動くようになり、後遺症の悩みから解放されました。

そこで私たちはその驚くべきデータを基に、安全性や信頼性を確信し、厚生労働省の認可機関である、再生医療特定認定委員会に審査をお願いし、今秋より脳血管障害による後遺症の治療を開始することになりました。

このように多くの治療を続けていると、今後もいろいろな新しい治療効果を体験し見いだしていくと思われれます。

もともと身体のあるゆる部分の再生を促す体性幹細胞ですから、当たり前かもしれませんが、新たな発見に夢が膨らむばかりです。

Profile

医療法人社団 友志会 理事長
1987年3月 福岡歯科大学 卒業
1987年4月 福岡歯科大学病院保存科 入局
1989年6月 長齒科医院 開設
1994年8月 新地ハロ一歯科診療所 開設
1996年 医療法人社団友志会 設立
2007年8月 翼ハロ一歯科・内科診療所 開設

